

4 学校教育計画 4年間の目標と主な方策（令和6年度～令和9年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①指導と評価の一体化・観点別評価の充実を図る。また、生徒の自学自習を促進させ、個別最適な学びを提供する。</p> <p>②福祉マインド・思いやりの心を醸成するべく、教科横断的な学習を実践する。</p> <p>③学校行事や生徒会活動を充実させ生徒の主体性を育み自己肯定感を高める。</p>	<p>①職員研修を行い各観点の再確認をし、適切な観点別評価が行える状態をつくる。また、指導と評価の一体化のため形成的評価の理解を進める。</p> <p>①各教科で定期的に宿題や課題を設定し、各自が学習に取り組めるようにすることから始め、自らの課題を見つけ、取り組めるようにする。</p> <p>②すべての教育活動で「福祉マインド・思いやりの心」を育む活動を取り入れる。</p> <p>③生徒たちの意見や考えを行事に取り入れるために、定期的に委員会を開催する。行事後の振り返りを充実させ、課題発見・解決に繋げる。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>①困難を抱える生徒の現状をとらえ、支援の方向性を定める。</p> <p>②生徒に基本的な生活習慣を身につけさせ、問題行動への対応を充実させる。</p>	<p>①生徒の変化を機敏に捉えるべくグループと各学年・学校全体で迅速に情報共有し諸機関含めチームで支援にあたり、問題行動等の未然防止をし、組織的支援体制をさらに充実させる。</p> <p>②在学中に成人になることをふまえたマナーのさらなる向上に取り組む。</p>
3	進路指導 ・支援	<p>①校内及び家庭での学習時間を保障し、生涯を通じた学習への態度を醸成する。</p> <p>②進路指導の充実を図り、生徒の進路第一希望を叶える方策をとる。</p>	<p>①各教科で指定した教育動画等を視聴させるなどし、生徒が様々な形で学習することを身につけさせる。また、補習等も多く設定し積極的に参加するように指導する。</p> <p>②生徒の希望進路に応じたGoogleクラスルームを作り、効果的に情報提供を行い、進路選択に資するキャリア教育を実行する。</p>
4	地域等との 協働	<p>①地域との交流を学校全体に広げ、持続性を持てるようにし、学校の社会的責任（スクール・ソーシャル・リスポンシビリティ）を果していく。</p>	<p>①地域との連携を強化するため、地域の力を学校に取り入れ、専門家を学校に招き、講演やワークショップを実施する。</p> <p>①総合的な探究の時間の中でソーシャル・リスポンシビリティについての理解を深めさせ、実行に移せるように指導・支援する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安心して通える安全な環境を整えるとともに、防災意識を高く持つ。また、校内美化に努める。</p> <p>②事故不祥事防止に努め、ヒヤリハットで食い止められる組織を作る。</p>	<p>①災害時を想定したDIG研修と避難訓練を行う。文化祭では防災委員のパネル展示を行い防災意識を高める。</p> <p>①掃除用具の整備を進め、美化を行うための環境を整える。</p> <p>②事故防止会議において、気にかかる内容について協議し、未然防止を図り、事故不祥事防止研修を、自分事として研鑽できる研修とする。</p>